

令和元年度（2019年度） 熊本電子ビジネス専門学校 学校関係者評価結果

1 学校の教育目標

本校の三綱領である「進取」「明朗」「誠実」を教育理念の根幹におき、理事長、校長を中心とした指導体制のもと、スローガンに、時代を生き抜く「高い専門性」と「豊かな人間力」の育成を掲げ、全教職員が一丸となって、日々の一つひとつの教育活動を着実に実践し、常に先を見通す論理性や人間の機微がわかる感性を養い、総合力に富む真の意味で社会に貢献できる人材を育成する。

2 学校関係者評価委員会

- (1) 開催日 令和2年5月20日（水）
- (2) 時間 午後2：30～午後4：00
- (3) 場所 熊本電子ビジネス専門学校 第1実習室
- (4) 出席者 評価委員 7名（1名欠席 後日資料参加）、 学校側5名

(1) 教育理念・目標

学校関係者意見等	○短期的な構想は学校運営の指針等で示されているが、学校全体の将来構想と中期構想については、不足していると感じる。教職員間で意見を出し合い、構築する必要があると考える。
今後の改善等	○現状、短期的な視点に重きがおかれ中・長期的な将来構想が不十分であることは確かである。専門学校を取り巻く社会環境は急速に変化している中で、職員一人ひとりがしっかりと問題意識を持ち、また情報収集に努め、社会のニーズに応える将来構想を構築したい。そのためにも、今後は外部人材の意見を広く聴く場を設けるなど、より開かれた学校運営を目指したい。

(2) 学校運営

学校関係者意見等	○ここ数年、各種制度の導入など、業務量増に対する職員の数が不足しているのではないかと。面倒見の良さは本校の特徴だと思うが、質の低下が心配される。職員確保のマネジメントを十分に行っていただき、学生満足度の向上に努めてもらいたい。 ○各種規定の整備が不十分であると評価が出ているが、今後の対応はどのように考えているか。 ○業務のIT化が遅れていると思われる。学生管理、職員管理、事務管理等システム化することにより、業務の最適化が図れるのではないかと。また、それによる業務の見える化でムダを省くことができるのではないかと。思う。
今後の改善等	○昨年度も職員の確保については、継続的に重要項目として取り組んできた。その成果として数名の職員の確保につながっている。また、専門分野・学生指導等の質の向上を図るためにも研修制度の充実を図りたい。 ○規定はしっかりと整備されているが、見える化が不足しているためではないかと思う。適切に改善したい。

	○個々の業務に対応したIT化は一部で行われているが、学校運営全体を包括的に扱うIT化は十分ではない。現在、システム等の導入を前提に各種情報を集めている段階である。学校を取り巻く環境の変化により、業務量は増えている。今後も、学生と向き合う時間の確保のためにも、早期にシステム導入を実現し業務の効率化、判断の迅速化を進めたい。
--	---

(3) 教育活動

学校関係者意見等	○給付金等の各種制度を取り入れたことによる教育活動上の変化はあるか。
今後の改善等	○各種制度を取り入れたことにより、カリキュラム編成や各種基準を見直す良い機会となったと感じている。今後も専門学校の特徴である時代に即応した柔軟なカリキュラム編成を構築するなど、より内容の精度を高めたい。

(4) 学修成果

学校関係者意見等	○例年に比べて後半の就職率の伸びが低かったことに原因はあるのか。あれば、今後の対策を教えてください。
今後の改善等	○前年度の就職率が伸び悩んだ要因は、例年と比較して不安要素のある学生の増加にあるように思われる。今後は、不安要素がある学生に対しては、早い段階から保護者面談を強化するなど、各担任との連携を強化し、就職率向上につなげていく考えである。

(5) 学生支援

学校関係者意見等	○報告の中に色々な特性を持った学生が増えているとあるが、それらの学生を指導できる体制は整っているのか。
今後の改善等	○学生相談に対する体制づくりは喫緊の課題である。職員研修等で職員のスキル向上に努めてはいるが、現在、教職員個々の資質によるところが大きい。専門スキルを持った職員の確保・育成を進めると共に、環境面の整備も検討したい。

(6) 教育環境

学校関係者意見等	○施設・設備の改善は少しずつみられるが、学科のカリキュラムに対応した演習室の整備、施設のバリアフリー化、エアコン・換気扇の更新等、必要とされる部分はまだ多く見受けられる、現状並びに今後の計画を伺いたい。
今後の改善等	○前年度は実習室PCの更新、教室の机・椅子の入れ替えを行った。また、全館・全教室のネットワーク環境整備が終了し、今回のコロナ禍に伴う遠隔授業の実施に寄与した。今後の計画については、将来構想と連動する部分とそうではない部分をしっかりと整理し整備に努めたい。

(7) 学生の受入れ募集

学校関係者意見等	○ここ数年、入学者の数が増加している。普段の教育活動の成果が、数字となっていると思う。ただ、学科の募集状況に偏りがあるように見受けられるが、今後、どのように対応するか伺いたい。
----------	--

今後の改善等	○確かに学科別に募集状況を見ると入学者数に偏りがあるが、学校全体としては、入学者数は増加傾向にある。設置学科の改編については、大変難しい問題であり、改めて学校の存在意義を問われる部分でもあると考える。今後、慎重に検討しなければならない問題だととらえている。
--------	--

(8) 財務

学校関係者意見等	○財務情報の公開は適切に行われているか。
今後の改善等	○財務状況については、評議委員会等にて適切な説明を行っている。また、本校のホームページ上にも情報を公開しているところである。今後は、さらに透明性の高い情報を提供することにより学校法人としての説明責任を果たして行きたい。

(9) 法令等の遵守

学校関係者意見等	○職員に対して、自己点検・自己評価結果のフィードバックの機会は十分確保されているか。
今後の改善等	○集計結果等のフィードバックはもちろん行っているが、取り組みとしてはまだまだ不足している点がある。学校運営改善の指針として活かすためにも、今後も引き続き職員へのフィードバックは機会、質の十分な確保に努めたい。